

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	05	事業名	高津区放置自転車対策事業		
事業所管課	道路公園センター管理課			担当者	杉原	連絡先	044-833-1221

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区内の主要駅周辺での放置自転車の低減。また、自転車を放置・駐輪することを禁止されていることが周知・徹底されていないので、これを解決する必要がある。
事業概要	高津区内における主要鉄道駅の自転車等放置禁止区域内の自転車放置を防止し、安心・安全で住みやすいまちづくりを推進するため、自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去を週4日以上実施するとともに、整理誘導員による駐輪場施設への誘導と放置・駐輪に係る警告を行う。 また、放置自転車防止に向けたキャンペーン等の普及啓発を行なう。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	455,000	予算額（調整後）	455,000	決算額	407,814	不用額	47,186
不用の理由	配当留保等による。						
事業目標	自転車等放置禁止区域に指定されている6駅（武蔵溝ノ口駅・梶が谷駅・高津駅・久地駅・津田山駅・二子新地駅）を中心に、放置自転車等の撤去活動を行うとともに、広報・啓発活動を行い、より効果的に自転車等の放置を防止する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	自転車等放置禁止区域における自転車等の計画的な撤去活動と自転車等放置防止対策を継続して行う。 新たな自転車等放置禁止区域指定に向けた、駐輪場施設の確保に係る調整を行う。						
事業目標を達成する上での課題等	駅周辺での駐輪場施設の確保及び撤去自転車を収容するための保管所整備。 武蔵溝ノ口駅北口周辺に、買い物客用の時間利用駐輪場の整備。						
実績	武蔵溝ノ口駅周辺では、平成27年5月1日付で東急田園都市線「溝の口駅」高架下の自転車等放置禁止区域への追加指定を実現するとともに、武蔵溝ノ口駅南口の地下駐輪場の完成に伴い、平成27年12月1日付で下作延中央公園等の自転車等放置禁止区域への追加指定を実現した。また、中原区役所で行った末長東公園の自転車等放置禁止区域への追加指定にあたっては、地元住民等との調整を行うなどの協力をした。 さらに町内会等の協力により、高津駅前放置自転車に対する夜間パトロールを定期的の実施し警告書を貼付した。 また、放置自転車クリーンキャンペーンとして、久地駅前にて広報・啓発を行った。 平成28年3月末現在の撤去自転車等の台数は、撤去用トラック2台体制で約7,000台。このうち溝ノ口駅北口の撤去台数は約5,200台。						
協働の視点	放置自転車対策には、鉄道事業者、地元商店街、地域住民との協働が不可欠であり、連携を密にして、放置自転車数減少のための活動に取り組んだ。						
環境配慮への視点	放置自転車等を撤去することにより、安全な歩行空間や緊急自動車等の通行確保を目指した。						
取組の成果	武蔵溝ノ口駅南口の駐輪場運用開始を見据え、駅周辺の自転車等放置禁止区域の追加指定を行い、撤去台数の向上が図られている。 重点的に対応している武蔵溝ノ口駅北口は商店街であることから、平日でも凡そ100台（大手銀行・スーパー前）が放置されているので、放置自転車を撤去しカラーコーンや路面シール等の設置により、現場での放置防止対策を実施するとともに、シルバー人材センターや整理誘導員による、放置自転車への警告書貼付や自転車利用者に対する駐輪場への案内・誘導を行った結果、平日の放置台数は昨年度より減少し公道を広く供用の用に供され安心して安全なまちづくりを促進した。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 口見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 口終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	区内における鉄道駅を中心に放置自転車の状況を把握し、安心して住みやすいまちづくりを推進する。 自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去を週4日以上、引き続き実施するとともに、整理誘導員による駐輪場施設への誘導と放置駐輪に係る警告を行う。 また、放置自転車防止に向けたキャンペーン等の普及啓発を行なうと共に、武蔵溝ノ口駅北口の放置自転車の撤去を重点的に実施し、放置自転車数の減少を目指す。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	10	事業名	安全・安心まちづくり支援事業		
事業所管課	危機管理担当			担当者	佐藤・窪田	連絡先	044-861-3146

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心なまち高津の実現に向けて、区民を犯罪や交通事故から守るため、防犯や交通安全に係る啓発活動を実施し、区民の安全・安心に係る意識を高める必要がある。 区内で発生した犯罪等の情報を迅速に地域へ情報提供する必要がある。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 防犯啓発活動として、警察署と連携して防犯キャンペーンを実施する。 交通安全に対する意識を高めるため、警察と連携をして交通安全キャンペーンを実施する。 区民による自主的なパトロール活動団体である高津防犯パトロール隊（TBP）へ、ベスト等の防犯パトロール活動用品等の貸与を行うとともに、活動報告会や宮前区との合同パトロールを実施する。 地域住民に区内で発生した犯罪等の情報共有を図る。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	806,000	予算額（調整後）	806,000	決算額	729,901	不用額	76,099
不用の理由	契約差金及び配当留保						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 区民が防犯や交通安全に対する意識を高めるため、キャンペーン等の啓発活動を実施すること 防犯関係団体・機関との情報共有及び連絡調整をすること 区内で発生し、起こっている犯罪情報を迅速に情報提供すること 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 年3～4回程度の防犯キャンペーン 年4回の各季交通安全運動期間における交通安全キャンペーン 防犯パトロール隊活動報告会及び宮前区との合同パトロールの実施 警察署が作成する日々の犯罪発生状況を掲載したフラッシュニュース等を活用した犯罪情報の提供 高津防犯パトロール隊へベスト等の防犯パトロール活動用品等の貸与を行う。 						
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪抑止、交通事故の根絶のためには、区民に絶えず意識してもらう必要があり、そのためには、キャンペーン等の啓発活動を継続的に行い、考える機会を与え続ける必要があること。 地域住民が主体的に防犯パトロールを行うことは効果的であるが、住民の高齢化やパトロールのマナー化が懸念されるため、活動の活性化を図っていく必要があること。 						
実績	<ul style="list-style-type: none"> 防犯キャンペーンは平成27年4月、5月、10月、12月に警察と連携して実施した。 年4回の各季交通安全運動期間において、溝ノ口駅キラリデッキにて交通安全キャンペーンを実施した。 防犯パトロール隊活動報告会は平成27年11月19日に約130名の参加者を集め区役所で開催した。 平成28年2月10日に宮前区との合同防犯パトロールを警察署と連携して実施し、150名の参加者がパトロール及び防犯キャンペーンを実施した。 フラッシュニュース等を活用し、適宜地域へ犯罪発生状況等の情報提供を行った。 						
協働の視点	安全で安心なまち高津の実現という共通の目的のもと、活動用品の購入や貸与は区役所が行い、地域におけるパトロール活動は「高津区安全・安心まちづくり推進協議会」で結成されている各パトロール隊が行うなど、役割を分担し事業を行った。						
環境配慮への視点	防犯パトロール実施にあたり発生したゴミ等は必ず持ち帰るように参加者へ呼びかけを行っている。また、防犯キャンペーン、交通安全キャンペーン等で配布する啓発品を簡易包装のみとした。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> 各種キャンペーン等、継続した取組みを行った結果、防犯パトロール隊をはじめとする地域住民の防犯意識が高まり、活動の活性化を図ることができた。 活動報告会や宮前区との合同パトロールにおいては、数多くの隊員が参加し、各団体の取組み事例の発表・報告等、互いの隊の連携や情報の共有化を図ることができた。 特定の地域における犯罪の多発等、必要な情報を適宜防犯パトロール隊へ情報提供し、地域の効果的な防犯活動実施に繋げることができた。 						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロール隊に活動用品の貸与を行うなど団体の支援を継続して実施していく。また、隊相互の連携と情報の共有化を図るため、活動報告会や合同パトロールを引き続き実施する。 警察署や防犯協会との連携を深め、協力して各種キャンペーンや啓発活動を実施する。 積極的に地域へ犯罪発生状況等の情報提供を行い、より効果的・効率的な地域の防犯活動実施に繋げていく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	15	事業名	交通安全の普及啓発事業		
事業所管課	危機管理担当			担当者	佐藤・窪田	連絡先	044-861-3146

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止のためには、住民一人ひとりが日頃から交通安全意識を高めていくことが重要なため、継続的な広報・啓発活動が必要である。 親と離れて行動する機会が増える新入学児童の交通事故防止対策が必要である。 自転車利用が多く、行動範囲の広がる中学生の交通安全意識向上が必要である。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 区民の交通安全意識が高まるよう啓発活動を継続的に実施する。 各交通安全団体と連携し、効果的な啓発活動を実施する。 新入学児童を対象に交通安全の啓発活動を実施する。 中学生を対象にスクエアードストレート方式の交通安全教室を実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,250,000	予算額(調整後)	1,250,000	決算額	1,177,567	不用額	72,433
不用の理由	契約差金及び配当留保						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 区民の交通安全意識を高める。 各交通安全団体と連携し、効果的な活動を実施する。 新入学児童の交通安全意識向上を図る。 中学生の交通安全意識向上を図る。 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 毎月主要交差点にて「まちかど交通安全アピール活動」を実施する他、年4回の交通安全運動期間に溝の口駅キラリデッキにおいて交通安全キャンペーンを実施し、歩行者や通行車両に交通安全を訴え、交通事故防止を広く呼びかける。 区内の各小学校において、各交通安全団体と連携して入学式に出席する親子に啓発物を配布して、交通安全の重要性(大切さ)を訴える。 中学生を対象にスクエアードストレート方式の交通安全教室を開催する。 						
事業目標を達成する上での課題等	交通事故防止のためには継続的な広報・啓発活動が必要。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> 新入学児童への啓発活動として、高津区交通安全対策協議会の構成団体との協力・連携のもと入学式に出席する親子に啓発物・チラシを配布し、交通安全について呼びかけを行った。 月1回「まちかど交通安全アピール活動」を行い、歩行者に啓発品を配布しながら交通安全を訴えた。また、年4回の交通安全運動期間に溝の口駅キラリデッキにおいて交通安全キャンペーンを実施した。 区の敬老会の集まりで高齢者への呼びかけもを行い、啓発活動を行った。 区内中学校3校でスクエアードストレート方式の交通安全教室を、(株)オフィスワイルドへ委託して開催した。 <p>5月19日 西高津中 参加人数：800人 6月22日 橋中 参加人数：983人 10月23日 高津中 参加人数：441人</p>						
協働の視点	交通安全キャンペーンにおいて、啓発物品の調達や関係機関との連絡調整は区役所が行い、キャンペーン活動そのものは交通安全団体構成員が行うなど、役割を分担し事業を行った。						
環境配慮への視点	交通安全キャンペーン実施にあたり発生したゴミ等は、必ず持ち帰るように参加者へ呼びかけを行っている。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> すべてのキャンペーン、まちかど交通安全アピール活動等において、関係機関の長や構成員の多数の参加があり、効果的に交通安全の啓発を実施することができた。 スクエアードストレート方式の交通安全教室を中学校3校で開催し、自転車の安全運転に係る意識高揚に繋げることができた。 						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故ゼロを目指し、年4回の交通安全キャンペーンでは、より交通安全の意識高揚を図る内容となるよう内容を検討・工夫し、引き続き実施していく。 中学生に加え、高校生、高齢者等を対象にスクエアードストレートを取り入れた交通安全教室を行っていく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	35	事業名	高津区防災まちづくり推進事業		
事業所管課	危機管理担当			担当者	牛島	連絡先	044-861-3146

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> 区災害対策本部の強化・充実 自主防災組織・避難所運営会議の活性化 区民ひとりひとりの防災意識の醸成 さまざまな主体のネットワーク体制の構築
事業概要	「自助」「共助」「公助」の観点から、またネットワークの強化の視点から、地域防災力向上を図る施策を実施し、災害に強い高津区のまちづくりを推進する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	4,399,000	予算額（調整後）	4,132,000	決算額	3,998,537	不用額	133,463
不用の理由	契約差額及び配当留保（備品購入費）						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 区災害対策本部の強化・充実 自主防災組織・避難所運営会議の活性化 区民一人ひとりの防災意識の醸成 さまざまな主体のネットワーク体制の構築 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 区役所全職員を対象とした参集シミュレーション訓練及び管理職等を対象とした情報伝達訓練の実施 自主防災組織・避難所運営会議の活性化に向けた支援 区民の防災意識向上に向けた啓発事業（たかつ あん☆あん フェスタ）の実施 高津区防災ネットワーク会議の継続実施 帰宅困難者対策の強化に向けた検討 						
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> 職員の意識醸成、対応力強化には、継続した研修や訓練の実施やマニュアルの整備等が重要である。 自主防災組織・避難所運営会議の活性化には、関係機関や地域団体との丁寧で粘り強い調整が必要である。 自助力の強化のためには、区民に効果的な啓発をするための創意工夫が必要である。 ネットワーク体制の強化のため、高津区防災ネットワーク会議で具体的な成果を上げていくことが重要である。 						
実績	<ul style="list-style-type: none"> 職員の意識の向上や対応力の強化を図るため、全職員を対象とした参集シミュレーション訓練及び情報伝達訓練を実施した。 高津区防災ネットワーク会議の開催に当たっては、より具体的な事例を紹介するなど、情報の共有と連携の強化に向けた取組を実施するとともに、自主防災組織・避難所運営会議の活性化に向け、町内会・自治会等と協働し、防災・避難所開設等の各種訓練を実施した。 武蔵溝ノ口駅南北自由通路で啓発事業「たかつ あん☆あん フェスタ」を開催し、区民の意識啓発を図った。（委託業者：㈱TERAMAX）平成28年3月19日 11時～15時 天気：雨 参加人数：2,400人 帰宅困難者対策の強化に向け、国の都市安全確保促進事業に基づくエリア防災計画の策定に向けた検証・検討を行うとともに、関係機関との連携・協力の下、帰宅困難者対策訓練を実施した。さらに、近隣の世田谷区との情報共有等による連携の強化を図った。 						
協働の視点	<ul style="list-style-type: none"> 高津区防災ネットワーク会議は、関係機関、地域団体等と協働で防災対策を行うための情報を共有する場である。 啓発事業の実施にあたっては、高津区自主防災組織連絡会議をはじめとした関係団体等との連携のもと、家庭における自助に関する啓発や各種災害体験等を通じ、「危険を知って備える」ことの必要性について広く周知を図った。 						
環境配慮への視点	高津区防災ネットワーク会議や避難所運営会議などに使用する資料の用紙はすべて再生紙を使用するとともに、配布する資料の両面コピーを励行した。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> 自助、共助の強化を図るため、区ホームページや各種媒体等を用いて、積極的な広報・周知を図ったことにより、区民、地域団体、関係機関等の防災に対する意識醸成が図れ、地域防災力の向上につながった。 帰宅困難者対策の強化に向けては、先行事例の検証を踏まえた検討を行った結果、溝ノ口周辺地域エリア防災計画の策定に向けた実態の調査を行う予定となった。 						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<ul style="list-style-type: none"> 区民向け啓発事業については、より効果的かつ多くの人への啓発が可能となるよう結果を検証しながら、内容について検討ししながら継続して実施する。また、対象の属性や立場を考慮した防災関連情報の発信を図るため、女性の視点を活かした防災をテーマとした啓発手法を検討・実施するとともに、エリア防災計画の策定に向けた調査・検討等を行う。 さらに、5年目を迎える高津区防災ネットワーク会議の継続実施にあたっては、より効果的で円滑な運用に向け、事務局を担当する各所属や関係機関・団体との連携強化を図る。